

2022 1/25

No.2155

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



第98回東京箱根間往復大学駅伝は3日、復路5区間が行われ、往路制覇の青学大が大会新記録で2年ぶり6度目の総合優勝を果たした。



## contents

視点点描	3
「常識」を疑う大切さ	
2022年国際展望	4
米中対立、危ういかじ取り 注目集める日本外交	
政治	8
「誌上座談会」通常国会始まる 首相、参院選へ「安全運転」 コロナ対策は機動力重視	
デモクラシーの現場から	12
施政方針演説の力点をAI分析で読む	
風のたより	14
箱根駅伝と若者の憧れ	
会員コーナー	15
主な県内企業トップ訓示	
かながわTODAY	16
2022年主な予定	
神奈川景気データファイル	18

### 事務局だより

◇2022年2月定例講演会  
2月14日(月)午後1時30分  
～2時30分  
ホテル、ニューグランド タ  
ワー館3階「ペリー来航の間」  
講師は、前内閣総理大臣菅義  
偉氏  
演題は「政権運営の1年と今  
後」  
※定例講演会は、新型コロナ  
感染拡大の状況によっては中  
止または延期する場合があります。

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

# 視点 点描



## 「常識」を疑う大切さ

帝京大ラグビー部を10度の大学日本一に導いた岩出雅之監督が退任を表明した。金字塔を打ち立てたタイミングをひと区切りにしたのだろうと思ったが、そうではなかった。下級生が順調に成長している今が後任にバトンを渡す好機とみて、「勝っても負けても辞めようと思っていた」という。事がうまくいっている時に、あ

えて「変化」を選ぶのは勇気のいることだ。人材育成や組織づくりに定評がある名指導者は、その引き際にも強い意志を感じた。自分の頭で考え行動できる人間を育てるため、「常識」や慣習を疑うだけでなく、最後まで自身が変化し続ける努力を怠らなかつた。厳しい上下関係、寮の掃除といった雑用は下級生の役割。体

育会の常識や慣習だったことに一つひとつ切り込み、組織のあり方に新風を吹き込んだことは広く知られている。他にも岩出監督のエピソードの中で印象に残るのは、「命懸けでボールを追うな」という言葉だ。体を張ることと、無理をすることは違う。自身のレベルを正確に把握し、まずは自分を守ることに集中することを意識させた。

危険と隣り合わせの激しいスポーツだからその言葉は、選手に安心感を与え、大学に入ったばかりの1年生に雑用をさせずに負担をかけないことは「心のゆとり」を生む。不条理な前例を一つひとつ取り除いていくことで、腰を据えて「本業」に取り組みやすくなることを証明していった。

時代の動きを的確にとらえ、社員一人ひとりの成長を促していく。社会が変化するスピードが早く、コロナ禍という非常事態にある今だからこそ、リーダーは明確な羅針盤を持ち内外に示していくことが大切になるのもまた同じである。課せられた課題は、新聞業界にも突き付けられている。デジタル全盛の時代にあつて、紙の新聞はどう変わるべきなのだろう。

地域ジャーナリズムの担い手として社会のためになる情報を発信し続ける役割は変わらない。変わるべきは、変化を恐れずに新しい「形」を示すために模索し続けようとするマインドを持つことへ、ではないか。見た目だけでなく、中身を含め、変化し続ける努力を怠らないようにしたい。

(神奈川新聞社編成部長

佐藤 英仁)